

ナカミシシラン	<i>Haplopteris fudzinoi</i> (Makino) E.H.Crane	絶滅危惧Ⅱ類
		シシラン科
選定理由	岐阜県では一部の生育地を除くと個体数も少なく存続の基盤が脆弱である。	<p>写真(荻山恒弘)</p> 
形態の特徴	常緑性のシダ植物。根茎は短く這う。葉は線状被針形で長さ20-40cm位で厚くて肉質。葉の表面には2本の溝がある。	
生態的特徴	山地の湿った岩上等に生育している。	
分布状況	県南に点々と見られる。	
減少要因	採取圧と森林伐採による環境の激変が主な要因と思われる。	
保全対策	森林の保全に配慮する必要がある。	
特記事項	最近の分類ではイノモトソウ科として扱われている。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 130. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1987. 日本のシダ植物図鑑. 5. P.766-769. 東京大学出版会. 東京.	

文責: 荻山恒弘